



清水港で進む公民連携によるみなとまちづくり



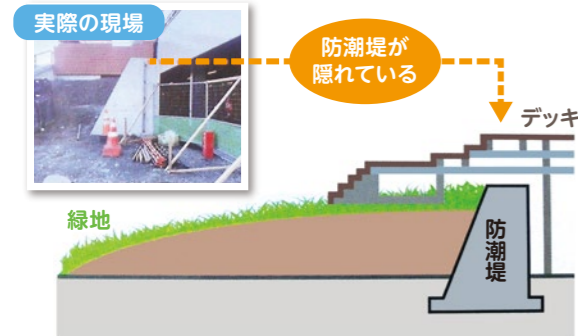
▲ 日の出地区等の将来イメージ(一社清水みなとまちづくり公民連携協議会「日の出・巴川河口地区ガイドプラン」(2023年2月)より)

清水港及び周辺では公共と民間が連携して港湾の魅力から地域の活力を高める「みなとまちづくり」が進んでいます。清水みなとまちづくり公民連携協議会は2019年に策定した清水港及び周辺の将来像『清水みなとまちづくりグランドデザイン』に基づいて活動、先導的な地区の実行計画の策定や諸課題を洗い出しシンポジウムなどで地域の皆様に情報公開しながら取り組んでいます。日の出地区では2023年11月エスパルスドリームプラザ新館(PARK-side)の新築に合わせて静岡県と商業事業者が連携して新しい防潮堤ができました。これは海側の緩傾斜緑地がデッキでドリームプラザ新館2階とつながって、文字通り公民連携が形になったもので、全国的にも珍しい取り組みです。



▲ エスパルスドリームプラザ新館(PARK-side)と緩傾斜緑地の全景

(一社)清水みなとまちづくり
公民連携協議会HP



盛土に隠れている津波防潮堤

これまでの防潮堤は、コンクリートの壁が地上に突き出し、街と海を分断する課題がありました。こうした景観上の問題を、防潮堤の前面に緑の丘を作って覆おう事で解決しました。普段は緑地として、災害時には沿岸部からドリームプラザ新館への避難路として利用できるようになりました。普段も災害のときも活用できるようになりました。

しずおか自治連だよりに関する
ご意見・ご感想をお寄せ下さい

連絡先: 静岡市葵区追手町5番1号 TEL・FAX: 054-221-1568
ホームページ: <http://www.shizuoka-jichikai.net/>



発行/静岡市自治会連合会 編集/広報編集委員会
2024年(令和6年)11月1日発行/発行部数 260,400部

*過去の「しずおか自治連だより」は静岡市自治会連合会のホームページでご覧になれます!!

しずおか自治連だより

令和6年4月1日現在推計人口673,804人 自治会・町内会数954会

静岡市災害時協力井戸の登録にご協力ください!

令和4年台風15号に伴う大雨の影響により、清水区の広範囲で断水となり、多くの市民の生活に影響を与えました。そのため、静岡市では、災害時に近隣住民の方々に「生活用水」として井戸水を提供していただける井戸を、市にあらかじめ登録していただく「災害時協力井戸制度」を令和5年7月に導入し、登録件数の増加に向け取り組んでいます。

令和6年1月に発生した能登半島地震では、被害の大きかった能登半島北部を中心に断水が発生しましたが、大規模災害時における代替水源としての井戸の活用は有効な手段の一つであると報告されるなど、市民の皆さんの防災意識の高まりもあり、協力いただける井戸の登録件数は増加していますが、まだまだ不足していると考えます。そこで、災害時協力井戸の登録者に対して、奨励金を交付することで登録を加速化し、地域防災力の向上を図っていきます。皆様のご協力をお願いします。

登録番号 号
静岡市
災害時協力井戸
※飲用には使用できません。
飲用した際は責任を負いかねますのでご注意ください。

災害時 登録 奨励金 3万円 協力井戸

登録していただいた井戸にはこの標識を設置していただいています。

【お問合せ】 静岡市危機管理局危機管理課 TEL.054-221-1248(平日8:30~17:15)



清沢地区 令和4年台風15号からの復興

清沢地区鍵穴では、台風15号の上陸に伴い、9月23日夜遅くから24日明け方にかけて、総雨量419.5ミリの記録的な大雨が降り、道路の崩落や土砂崩れ、河川の増水による浸水など多くの被害が発生しました。

家や側溝に流れ込んだ土砂のかき出しは、自力では

難しく、近隣住民と消防団、そして清沢地区内の有志が集まって行いました。地区内には重機を扱える住民もいたため、近隣住民の重機を借り、多くの住民の協力によって土砂を撤去しました。住民による初動ののち、建設会社やボランティアによる復興が行われました。



▲清沢生涯学習交流館の前の道路が崩落しました。



▲重機が入れない側溝などは人の手で土砂をかき出します。

七夕豪雨から50年 地域の防災対策

昭和49年7月の七夕豪雨では旧静岡市、旧清水市は広い地域に多大な被害を被りました。治水対策として大谷川放水路の開通、麻機遊水地の整備など着々と進められています。

一方、市街地の真ん中にある谷津山は各所で「急傾斜地

崩壊危険区域」に指定されています。

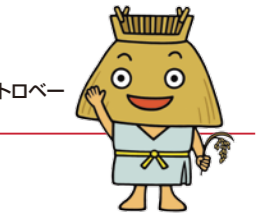
谷津山の南麓では七夕豪雨の際、山が崩れ二人が亡くなりました。その現場周辺では10年ほど前から防災工事が進められ、右下図のように整備されてきました。



▲49年7月 谷津山の土砂災害



▲谷津山南麓の防災工事の状況



駿河区大浜公園再整備事業

～民間収益施設では、災害備蓄倉庫を建物内に設置します。防災に対して、津波など災害時に公園利用者が建物内で一時避難出来る避難ビル指定を想定しています。～

大浜公園は、昭和5年に開園した歴史ある都市公園で、公園内にプールがある施設として広く市民に愛されてきました。

近年は施設の老朽化等から、PFIにより大浜公園の再整備を行い、従来公共工事と比べて少ない財政負担で、広域利用の公園としての機能強化や利用者のニーズに応えるサービスの提供、健全で持続可能な施設運営の実現を目指しています。

令和5年度より再整備を実施しており、令和6年度、令和7年度に施設整備を行い、令和7年7月のリニューアルオープンを目標に計画を進めています。リニューアル

後は、夏季のプールだけでなく、公園施設、民間収益施設の設置により、1年を通じて楽しめる公園として期待されています。



※イメージであり実際の形状と異なる可能性があります。

駿河区長田地区コミュニティバス



長田地区コミュニティバスは、高齢者や地域住民の利便性向上を目的とし、将来の交通移動手段を確保するため、地域主体の組織(長田地区コミュニティバス運営準備会)を立ち上げ、株式会社KMSバスの協力により計画を進め、現在試験運行を実施しております。

当該地区で運行していた路線バスの交通事業者も、近年運転手不足といった大きな問題を抱えており、運転手の確保や適正配置の解決策の一つとして長田地区コミュニティバスの後押しをして頂いております。地域の交通として継続して運行していただけるよう、地域が中心となって長田地区コミュニティバスを支えていく事業になります。



詳しくは左記のQRコードよりホームページをご覧ください。

